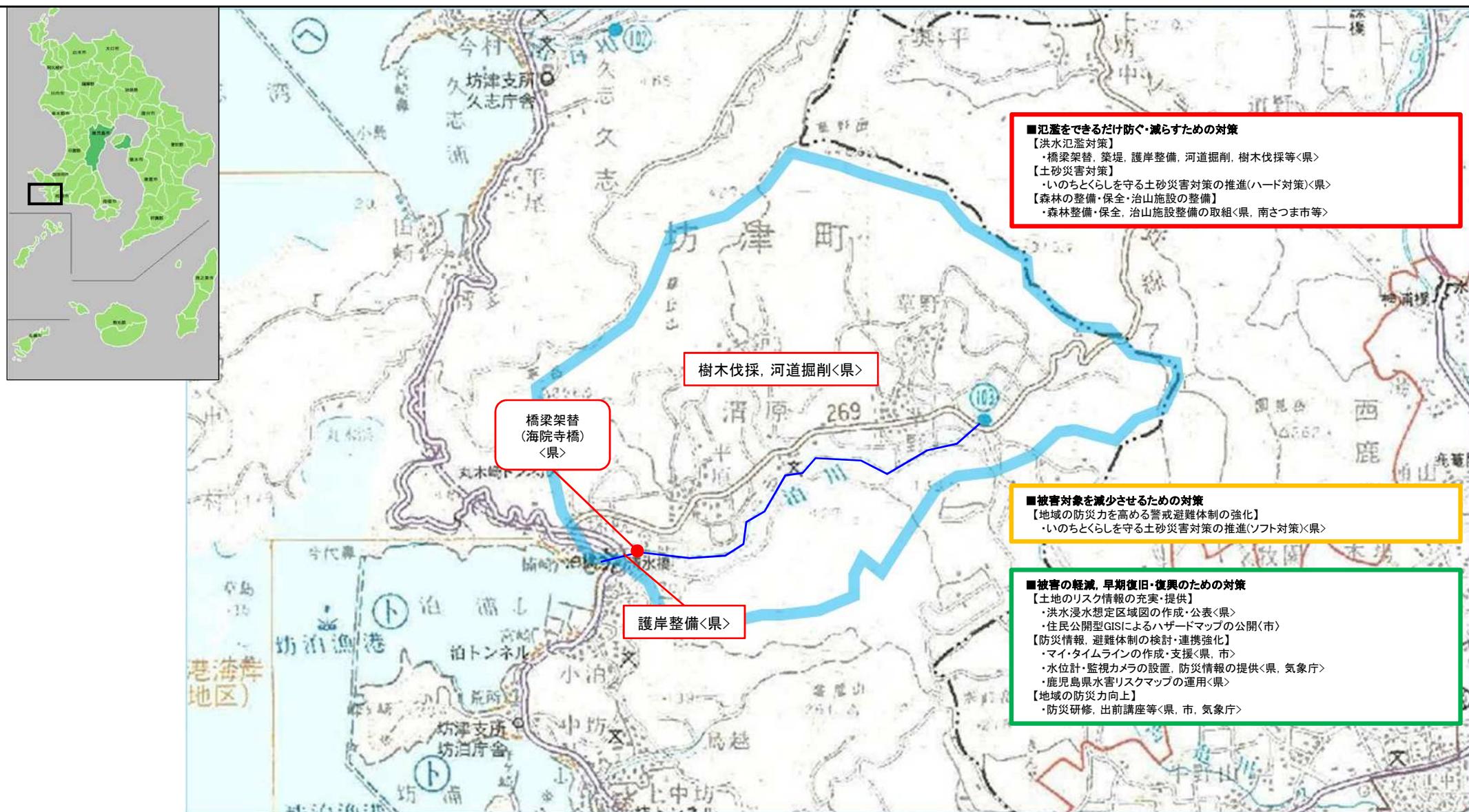


# 泊川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、泊川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、県管理区間においては、年超過確率1／30の規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 泊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】【最終とりまとめ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○泊川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした海院寺橋架替、護岸整備、河道掘削等を主に実施。

土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤・急傾斜地崩壊防止設備を必要に応じて整備。

土砂災害による流下能力不足防止を目的とした森林の整備・保全、治山施設の整備を実施。

土地のリスク情報の充実・提供、防災情報、避難体制の検討・連携強化、地域の防災力向上など、流域内の被害軽減を目指す。

【中 期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした海院寺橋架替、護岸整備を主に実施。

【中長期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削を主に実施。

| 区分                  | 対策内容                            | 事業主体           | 工 程                                   |     |     |
|---------------------|---------------------------------|----------------|---------------------------------------|-----|-----|
|                     |                                 |                | 短 期                                   | 中 期 | 中長期 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 洪水氾濫対策(橋梁架替、築堤、護岸整備、河道掘削、樹木伐採等) | 鹿児島県           | 海院寺橋架替、築堤、護岸整備、河道掘削、樹木伐採 等            |     |     |
|                     | 土砂災害対策(ハード対策)                   |                | 必要に応じて土砂災害対策を実施                       |     |     |
|                     | 森林の整備・保全・治山施設の整備                |                | 森林整備、治山施設整備による土砂流出抑制対策                |     |     |
| 被害対象を減少させるための対策     | 土砂災害対策(ソフト対策)                   | 鹿児島県           | 土砂災害警戒区域等の指定 等                        |     |     |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 土地のリスク情報の充実・提供                  | 鹿児島県、南さつま市     | 洪水浸水想定区域図の作成・公表 等                     |     |     |
|                     | 防災情報、避難体制の検討・連携強化               | 鹿児島県、南さつま市、気象庁 | マイタイムラインの作成・支援、水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等 |     |     |
|                     | 地域の防災力向上                        | 鹿児島県、南さつま市、気象庁 | 防災研修、出前講座 等                           |     |     |

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進